

以上 IQSY 中における、大気光観測の実態を簡単に御紹介したわけであるが、わが国における実施機関と項目は次の表の通りである。

観測場所	実施機関	項目
女 満 別	気象庁地磁気観測	6300, 5577 光電観測、 写真分光観測
仙台(遠刈田)	東北大理学部	6300, 5577 光電観測
新潟(弥彦山)	新潟大理学部	5577, 分子帯光電観測、 分光写真観測
柿 岡	東京大理学部	5577, 6300 薄明大気光 光電観測
堂 平	東京天文台 東京教育大光研	5577, 6300, Na-D, OH, 対日照の光電観測、分 光写真全天カメラ観測
岐阜(七宗)	岐阜大学学芸学部	5577, 6300, 及び偏光観 測
阿 蘇	京都大理学部	6300, 5577 光電観測
内 之 浦	東大宇宙航空研究 所	ロケット 大気光観測担当 東京天文台、東大理 地物

以上の観測関係に加えて、これらの結果の情報及び観測データの交換が各国の研究者に円滑に配布できるよ

うに必要なに応じて資料センターが設けられている。各国の観測資料はすべてこれら資料センターに保管され、何時でも研究者の便に供している。わが国における資料センターは東京天文台がこれにあたり、その責任をはたしている。

(90 頁より続く)

これからの計画ですが研究費が頂ければ 9400 Mc/s 素子回転型干渉計を建設する予定です。これは 16 個のアンテナを 1 列に並べて 1 つの架台にのせ、水平にぐるぐる廻し又この架台をシーソーのように揺動させて太陽面を色々の方向に走査して 2 次元輝度分布を出すものでしかもアンテナ間隔が可変であらゆる方向に同じ分解能をもつというものです。又 10 米のパラボラ又は干渉計に日本電気株式会社の御厚意による 9400 Mc/s メーザー受信機をつけて銀河電波、銀河系外電波天体の観測をすることも計画しています。

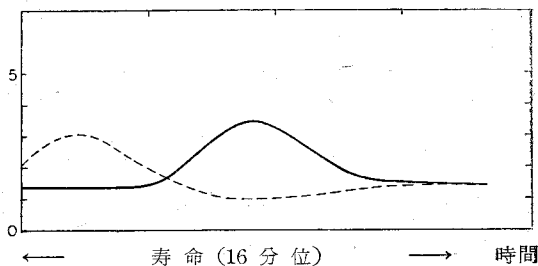
このように機械をふやそうとすると、ここ豊川でも狭くなって来ましたので、早く電波天文台が出来てその仲間に入れて頂けるのを待ち望んでいる次第です。

雑 報

スパイクールと彩層の微細構造の同定

第3図写真に見るような水素の H α 線をとった太陽面の黒い模様、太陽の縁にギザギザに見えるスパイクール(第1図)と同じものであることを、ベッカースはオーストラリアの 1/8A という狭い幅の H α 干渉フィルターでとった写真をもとにして注意深く結論している(J. M. Beckers, Ap J. 138, 648, 1963). その証拠としては

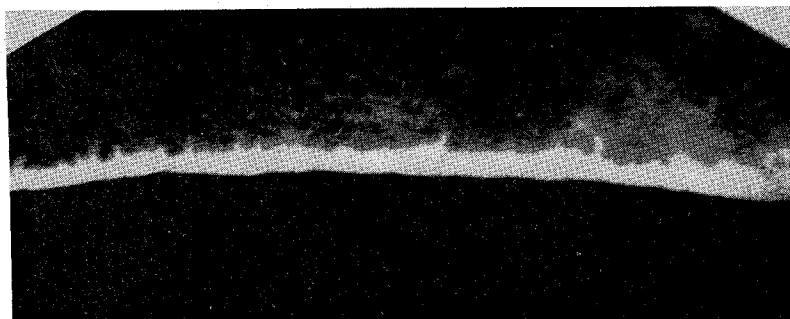
1) 黒い模様(細長い)の幅(1"位)と長さ(4"5)は、



第2図. 縦軸は黒い模様のコントラスト

スパイクールの幅や高さを説明できる。

2) 第2図のように H α 線の中心を狭む二つの波長で細

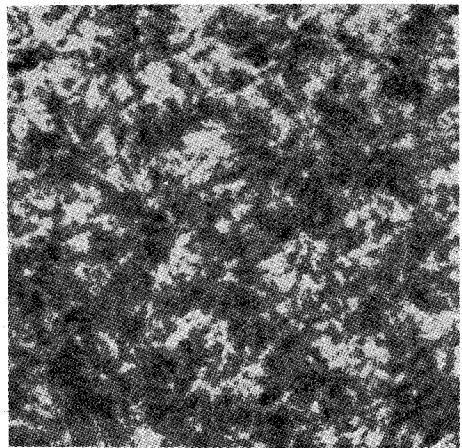
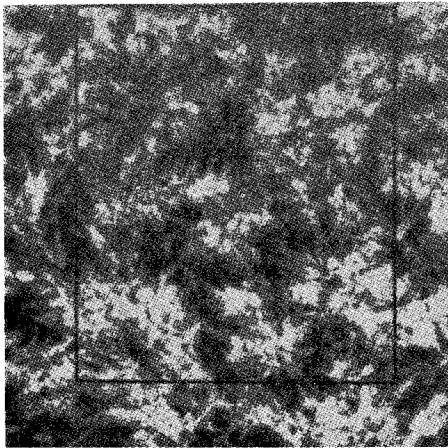


第1図 日食で撮影されたスパイクール、ギザギザの構造が見える。

い模様まわりの対するコントラストを時間と共に追うと、彩層の中をものが上昇して下降する様がよくわかる。この上昇下降に要する時間を寿命と考えると、スパイクールの上昇下降の時間と一致する。

3) 黒い模様の太陽面上の数を模様同志の重なり、コントラストが落ちたための数え落し、等を補正してやるとスパイクールから求めた数と一致する。

(牧田)



第3図 H α の中心波長から $\pm 0.5 \text{ \AA}$ 離れたところで撮影された太陽面の写真。黒い模様がスパイクールである。

新発売!!



普及型 10センチ 反射望遠鏡 (経緯台)

※口径 100 ミリ ※焦点距離 900 ミリ ※倍率 72 倍 ※アイピース 12.5 ミリ 1 個 ※接眼部ラックピニオン付、上下微動装置完備 ※木製三脚 ※水平微動付 3,000 増

- 超特価 18,500円 円 1,500円
 ファインダー付 (口径 30 ミリ 6 倍) 2,400円増
- 8cm 簡易赤道儀 特価 9,800円 円 1,000円

皆様の工作室「清原光学」が、すばらしい新型を発売しました。性能価格共に絶対に他社の追随を許しません。光学部品は標準型と同じですから最高の見えの良さを保証いたします。その他、自作用部品もありますからご相談下さい。

(切手 10 円 2 枚同封)

東京都新宿区東大久保 2-271 振替東京 8643
清原光学研究所

カンコー天体反射望遠鏡



二十糎 C G 式焦点距離二段切換
天体反射望遠鏡

- ★ 天体望遠鏡完成品各種
- ★ 高級自作用部品
- ★ 抛物面鏡、平面鏡、軸外し抛物面鏡
- ★ アルミニウム鍍金
- ★ 電源不要観光望遠鏡 (カタログ要 30 円切手)

関西光学研究所
京都市東山区山科竹鼻 TEL 京都 057

昭和 39 年 4 月 20 日
印刷発行
定価 70 円 (送料 6 円)
地方売価 75 円

編集兼発行人
印刷所
発行所

東京都三鷹市東京天文台内
東京都港区芝南佐久間町一ノ五三
東京都三鷹市東京天文台内

広瀬秀雄
笠井出版印刷社
社団法人 日本天文学会
振替口座東京 13595